

バイオマスタウン構想分析DB

[\[リンク\]たつの市バイオマスタウン構想](#)

公表回	公表年月日	構想見直し		都道府県名	市町村名	人口 (人)	面積 (km ²)
		公表回	公表年月日				
34	2009.4.30			兵庫県	たつの市	81,617	210.93
構想の要約		ごみの減量化及び再資源化並びに資源循環型社会の構築のため、地域住民や地元企業と協働して、主に家庭や企業から排出される食品資源や下水汚泥、家畜排せつ物、農産資源等のバイオマスの効率的な利活用を体系化し、将来にわたって継続可能なバイオマスタウンの構築を目指す。					
構想に盛り込まれた事業		①畜産資源(家畜排せつ物) たい肥化への調査、検討 ②食品資源 土壌還元・たい肥化・飼料 ③廃食用油 BDF事業化への調査、検討 ④紙ごみ 分別回収・再資源化 ⑤木質資源(製材工場残材・剪定枝・建設廃材)・木材製品利用 熱、チップ利用への調査、検討 ⑥林産資源(間伐材・風倒木)・木材製品利用 熱、木材製品、チップ、ペレット利用への調査、検討					
バイオマス利活用目標		添付別紙参照					
バイオマスタウン構想概要図		添付別紙参照					

利用するバイオマス					
廃棄物系バイオマス		未利用バイオマス		資源作物	
家畜排せつ物	○	稲わら・もみがらなど	○	資源作物	
農業系廃棄物(廃菌床など)		野菜等非食部			
食品廃棄物	○	間伐材・林地残材	○		
廃食用油	○	果樹剪定枝			
水産加工残さ		竹材			
製材工場等残材	○	その他()			
建設発生木材	○				
街路樹・公園・家庭剪定枝、刈草	○				
古紙・廃棄紙	○				
下水汚泥など	○				
その他()					

利用するバイオマス変換技術			
マテリアル利用のための変換技術		エネルギー利用のための変換技術	
堆肥化(土壌改良材・肥料を含む)	○	バイオガス化(メタン発酵)	
飼料化		直接燃焼	○
バイオマスプラスチック製造		ガス化	
その他(セメント原料、木材製品)	○	炭化	○
		固形燃料化(チップ・ペレット・RDFなど)	○
		バイオディーゼル燃料化	○
		バイオエタノール化	
		その他()	

バイオマスタウン実現に向けた取組の進捗状況	
記入年月日	記事

実現した事業	添付別紙参照
--------	--------

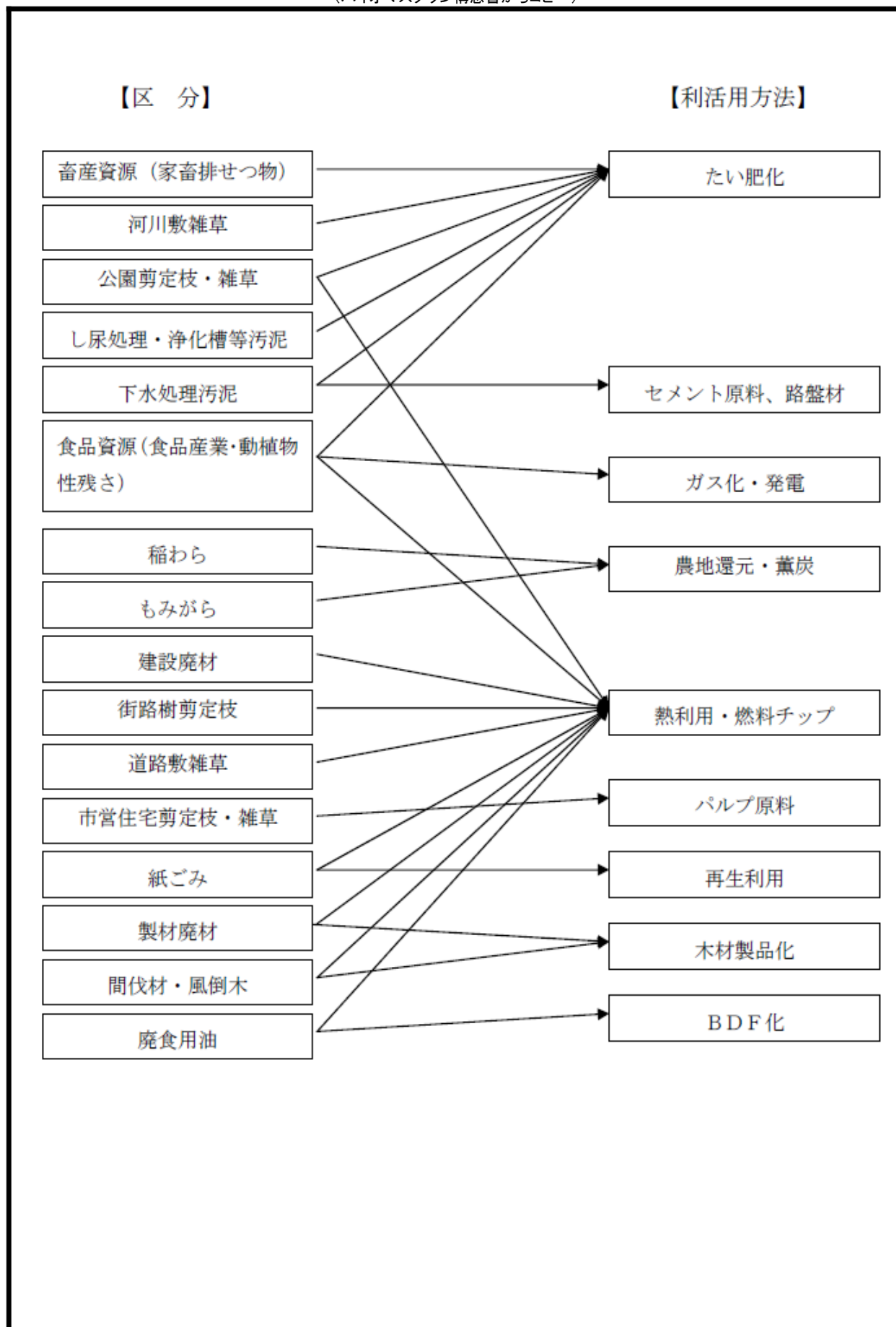
バイオマス利活用目標
(バイオマスタウン構想書からコピー)

単位：(t)

バイオマス	賦存量		利用計 画量	利活用 目標	目標利用量		目標利 用率
	湿潤量	炭素換算			湿潤量	炭素換算	
廃棄物系バイオマス	75,643	13,589	29,393	/	75,168	13,233	97.4%
①畜産資源（家畜排せつ物）	25,384	1,515	245	堆肥化	25,384	1,515	100.0%
②食品資源	26,029	3,037	15,890	堆肥化	26,029	3,037	100.0%
③廃食用油	1,204	903	20	BDF 化	729	547	60.6%
④紙ごみ	9,488	3,371	4,367	熱利用	9,488	3,371	100.0%
⑤し尿処理・浄化槽等汚泥	447	4	—	堆肥化	447	4	100.0%
⑥下水処理汚泥	402	28	—	堆肥化 セメン ト原料	402	28	100.0%
⑦木質資源	12,689	4,731	8,871	熱利用	12,689	4,731	100.0%
未利用バイオマス	43,892	9,893	10,233	/	10,233	2,919	29.5%
⑧農産資源（稲わら・もみがら）	10,098	2,891	10,098	農地還 元	10,098	2,891	100.0%
⑨林産資源（間伐材等）	33,794	7,002	135	木材製 品利用	135	28	0.4%
合計	119,535	23,482	39,626	/	/	/	/

バイオマスタウン構想概要図

(バイオマスタウン構想書からコピー)



実現した事業(その1)

事業の名称	
事業者名	
事業所名	
住所(施設の所在地)	
利用するバイオマス	
利用する変換技術	

	<p>添付別紙(パンフレット等)参照</p> <p>(事業形態、事業構成メンバー、出資比率、事業開始時期、施設の概要、プラントメーカー、建設業者、イニシャルコスト、ランニングコスト、原料単価、製品単価、経営状況、事業運営の課題、成功・失敗要因など記入)</p>
事業の概要	